



## ◇2学期を振り返って

今学期も本日をもって終了いたしました。今学期も保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動に御理解、御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。76日間の2学期でしたが、この間、校内体育大会や学芸発表会といった大きな行事を大成功に終えることができた充実の学期となりました。これらの行事を通して、生徒たちは自らの手で企画・立案・運営をしていくという、社会に出てからも必要となる力を身に付けました。

体育大会では、競技に出場する選手のがんばりはもちろんのこと、それを応援する姿がとても美しく、まさに生徒たちの心が一つになって繰り広げられる精一杯の姿に力強さを感じました。

合唱コンクールでは、指揮者、伴奏者、合唱者とそれぞれの立場で合唱を創り上げていくことの難しさを実感しました。意見のぶつかり合いやそれぞれの生徒の合唱に対する思い入れの違いからくる温度差などを乗り越え、コンクール当日にアクトシティ大ホールに響かせた合唱は、聴いているものを引き込むに十分な力を持っていました。

11月には各学年で、総合的な学習の時間を使って、福祉体験や職場体験、赤ちゃんふれあい体験に取り組みました。通常の授業では味わうことのできない実体験を伴なった学習に興味深く取り組む生徒の姿が印象的でした。これらの学習を通して、社会に出た時の姿をイメージし、自分の将来の姿を思い描く機会としてほしいと思います。生徒は今、どんな「なりたい自分」を持っているのでしょうか。「なりたい自分」になるために、今取り組むべきことは何でしょうか。足りないものは何でしょうか。これからどんなことを高めていけばよいのでしょうか。これらを考えるきっかけとなってほしいと思います。

部活動では中体連新人大会や各種コンクールが行われました。夏季大会を終え、3年生からバトンを受け継いだ2年生を中心として、それまでの練習の成果を十分に発揮し、躍動する姿が各部で見られました。しかし、この経験を通して、課題も見つかりました。夏季大会に向けて課題を克服し、さらなる活躍を誓うに至った大会、コンクールとなりました。

通常の授業では、今年度の重点である、「対話」を重視した授業が展開されました。「対話」を通して、授業にも深まりが出てきました。「対話」することで、学習内容を深く掘り下げることができます。同時に他者を思いやる気持ちも高めていくことができます。それによって、お互いを「信頼」する気持ちも芽生えています。それがやがては「感謝」の気持ちにつながっていきます。

現代社会は将来の予測が困難で、解決のための正解がない課題が山積する時代と言われています。そのような社会を力強く生き抜いていくためには持てる知識を総動員し、主体的にその解決策を見いだすべく思考し、最適解を見いだすことが求められます。生徒たちが社会に出た時に必要とされる力は多岐にわたります。学習内容を深く理解し、思考力を高めることはもちろん大切なことです。しかし、そのような時代であるからこそ、他者を思いやる気持ちやお互いを信頼する心、感謝の気持ちを持つことは人が豊かに生きるために必要なことであると思います。授業や行事等を通してこれらの「よりよく生きるために必要な力」をますます育んでほしいと願っています。

3学期は1年のまとめの学期となります。次年度への進学、進級を見据えてますます自己を磨いてほしいと思います。

## 教育の質の向上に向けた取組への理解と協力について（浜松市教育委員会より）

本市では、子供たちの健やかな成長に向けた教育の質の向上を図るため、教育委員会と学校が一体となって「学校における働き方改革」を進めています。その一環として、教職員が心身共に健康的に教育活動に従事できる環境を整えてまいります。

保護者並びに地域の皆様におかれましては、子供も先生も元気で笑顔あふれる学校づくりに向けて、今後とも御理解と御協力をくださいますようお願いいたします。

### ◆冬季休業期間中の「学校閉庁日」を実施します。

- 教職員の休暇取得促進を図るため、「学校閉庁日」を実施します。

今年度は、12月26日（金）です。

- 期間中は、原則として学校において教職員が不在となります。

※学校閉庁日における緊急時の連絡は、浜松市教育委員会教育総務課（457-2401）へ御連絡ください。（時間8:30～17:15 週休日・年末年始を除く）